

第2次総合計画 前期基本計画 総括シート

政 策	Ⅶ	安全でおいしい水と快適な生活環境が持続されたまち	計画書
施 策	1	上下水道事業の充実	146
主要施策	(41)	上下水道事業の充実	ページ

部	上下水道部	課	管理課 工務課
---	-------	---	------------

将来あるべき姿

公営企業としての経営原則を踏まえ、上水道事業を健全に経営し、安全でおいしい水を安定して供給することにより、市民が安心して使用でき、快適なくらしが維持されています。

総合評価

[illegible]

協働の取組(市の取組)		計画内容
①	上水道の安定供給	集中監視システムを活用し、水質検査や施設の運転管理などの維持管理業務を適切に行うとともに、計画的に浄水場の統合や基幹管路の耐震化(強靱化)を実施するなど、長寿命化を踏まえた必要な施設整備を進め、安全でおいしい水を安定して供給します。
②	水道事業の健全経営の維持	国庫補助金を活用した施設の統廃合や更新、民間委託の推進などによる事業運営の効率化により、コストの縮減と費用の平準化を図ります。あわせて、主要財源である水道料金の収納率向上と適切な料金体系の設定により、健全経営を維持します。
③		
④		
⑤		

取組評価		成果
▲		統合浄水場の整備工事及び老朽配水管の耐震化工事を計画的に実施することで、長寿命化を踏まえた必要な施設整備を推進する。とができたが、基幹管路の耐震化率が目標値に到達できなかったため、予算の平準化を含め、計画の見直しを行った。
H30 R1	● ▲	
▲		新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、水道料金を減免したため、収益減となり、経常収支比率が減少したが、100%以上を維持することができた。収納率は、高額滞納事案が係争中のため目標値に到達できなかった。
H30 R1	● ●	
H30 R1		
H30 R1		

方向性	後期基本計画(課題・廃止・統合等)
○	「安全でおいしい水を安定して供給すること」を目標に、維持管理業務を適切に行うとともに、計画的な統合浄水場の整備を推進する。また、基幹管路の耐震化については、見直した計画の進捗を推進する。
○	健全経営を維持するため、アセットマネジメント計画を策定し、計画に基づき更新費用の平準化を図る。財源を確保する取組として、水道料金は、スマートフォン等端末を利用したアプリケーションソフトウェアによる決済サービスを導入し、納付機会を拡充するとともに、料金体系を定期的に検討する。

【取組評価】●：十分に達成できた ▲：概ね達成できた ×：達成できなかった 【方向性】◎：さらに取組を充実させる ○：引き続き取り組む △：縮小して取り組む ×：取組不要

まちづくり指標							【取組計画】●：十分に達成できた ▲：概ね達成できた ✖：達成できなかった														
年度目標達成状況																					
協働の 取組番号	指標名	単位	方向性	累計・ 単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段：目標値					下段：実績値					上段：達成率		下段：年度目標達成状況		
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)					
①	上下水道等の整備の満足度	%	↑	単年度	80.8	79.0 2017 (H29)	—	—	85.6	—	90.0	—	—	102.6%	—						
							—	—	87.8	—		—	—	★★★★	—						
①	水道管(基幹管路)耐震化率	%	↑	累計	—	15.3	24.9	26.0	30.9	35.8	40.7	85.1%	100.8%	86.4%							
							21.2	26.2	26.7			★★	★★★★	★★							
①	浄水場施設数	施設	↓	単年度	3	3	3	3	3	3	2	100.0%	100.0%	100.0%							
							3	3	3			★★★	★★★★	★★★							
②	水道事業経常収支比率	%	↑	単年度	102.3	120.7	121.0	121.0	121.0	121.0	121.0	99.6%	102.4%	86.4%							
							120.5	123.9	104.5			★★	★★★★	★★							
②	水道事業自己資本構成比率	%	→	単年度	95.8	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	100.3%	101.4%	99.4%							
							96.4	97.4	95.5			★★★★	★★★★	★★							
②	水道料金の収納率	%	↑	単年度	96.4	96.1	96.3	96.5	96.6	96.7	96.9	100.5%	99.7%	97.8%							
							96.8	96.2	94.5			★★★★	★★	★★							

【年度目標達成狀況】★★★：達成、★★：達成率80%以上、★：達成率60%以上、☆：達成率60%未滿、—：測定不能

行財政改革関連事業の取組状況

竹期収収率関連事業の取組状況				財政 効果額 (千円)
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	
2	統合浄水場整備事業	○	統合浄水場建設工事に着手し、年度予定分が完了した。	

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を「×」の場合は成果なしの理由を記載する。

※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況

通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業（新規・廃止等事業を含む。）

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行革	実施 年限	上段：事務事業内容〔2018(H30)～2022(R4)〕 下段：2018(H30)～2020(R2)年度の取組内容・成果・課題	上段：予算（計画）、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						進捗	評価	方向性	備 考
						2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計				
1	①	水道施設維持管理事業			水道浄水施設管理技士等を有する民間事業者への運転管理業務の委託	45,360	50,196	55,031	55,031	55,031	260,649	○	A	○	
						45,360	50,196	55,031			150,587				
					運転管理業務を民間業者者へ委託し、安全でおいしい水を安定して供給できた。	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	57.8%				
						○	○	○	○	○					
2	①	統合浄水場整備事業	○ ○		広沢、滝野浄水場の耐震化及び浄水機能の効率化を図るための統合浄水場の建設	11,802	33,110	351,210	1,468,755	1,016,927	2,881,804	○	A	○	
						11,653	0	351,144			362,797				
					統合浄水場整備を計画通りに進捗させた。	98.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	12.6%				
						○	○	◎	○	○					
3	①	道路整備関連配水管布設事業	○		都市計画道路滝野梶原線、国道372号及び(仮)社西部線、県道松尾青野ヶ原停車場線等の道路改良に伴う関連配水管の布設工事	4,600	35,300	60,400	5,500		105,800	○	A	○	
						4,167	26,528	37,344			68,039				
					各道路管理者と協議し、工事を完成させた。	90.6%	75.2%	61.8%	0.0%	—	64.3%				
						○	○	◎	○						
4	①	工事監理員派遣委託事業			専門的知識を有する人材による円滑な現場対応を行うための工事監理員の派遣委託	14,726	14,534	14,467			43,727	○	A	○	
						14,726	13,295	12,560			40,581				
					工事監理員の派遣を受け、円滑な現場対応を行った。	100.0%	91.5%	86.8%	—	—	92.8%				
						○	○	○							
5	①	生活基盤施設耐震化等交付金事業	○		基幹管路の耐震化（秋津浄水場・秋津配水池間（L=1.90km）、広沢浄水場・高区配水池間（L=2.09km）、高区配水池・滝野配水池間（L=7.25km））	59,100	149,166	51,269	347,160	442,424	1,049,119	○	A	○	
						55,577	140,039	50,652			246,268				
					秋津浄水場・秋津配水池間（L=1.90km）、広沢浄水場・高区配水池間（L=2.09km）の工事を完了させ、基幹管路の耐震化を推進した。	94.0%	93.9%	98.8%	0.0%	0.0%	23.5%				
						○	○	○	○	○					
6	①	水道未普及地域解消事業（嬉野東地区）			水道未普及地域の解消 嬉野東地区L=12,040m	141,433	78,307				219,740	○	A	—	
						140,350	51,001				191,351				
					配管工事を完了させ、水道を供用開始したことで、水道未普及地域が解消できた。	99.2%	65.1%	—	—	—	87.1%				
						○	◎								
7	①	青野ヶ原演習場等周辺水道設置助成事業	○		青野原駐屯地及び滝野南小学校（災害時避難所）周辺の配水管耐震化工事	152,762	163,600	43,109			359,471	○	A	—	
						135,101	158,915	41,569			335,585				
					計画していた耐震化工事を完了させた。	88.4%	97.1%	96.4%	—	—	93.4%				
						◎	○	○							
8	①	市営住宅小元団地の建替関連配水管布設事業			市営住宅小元団地の建替に伴う配水管布設工事	16,144					16,144	○	A	—	
						13,981					13,981				
					計画していた配水管布設工事を完了させた。	86.6%	—	—	—	—	86.6%				
						○									
9	①	老朽管更新（配水管耐震化）事業	○		老朽配水管（VP）更新の設計（L=6.9km）及び工事（L=6.3km）	126,196	150,450	87,384			364,030	○	A	△	基幹管路の耐震化を重点的に行うため、実施年度の変更を行う。
						106,603	119,402	72,819			298,824				
					老朽管更新の設計（L=3.9km）及び工事（L=3.8km）を完了させた。	84.5%	79.4%	83.3%	—	—	82.1%				
						○	○	○							
10	①	都市計画道路滝野梶原線道路改良関連配水管布設工事	○		都市計画道路滝野梶原線道路改良工事に伴う配水管布設工事	51,800	62,000				113,800	○	A	—	
						48,583	4,078				52,661				
					計画していた配水管布設工事を完了させた。	93.8%	6.6%	—	—	—	46.3%				
						○	○								
11	①	加古川河川改修関連配水管移設事業	○		加古川河川改修事業に伴う関連配水管の移設工事			1,650	26,400		28,050	×	B	—	河川改修事業の遅延に伴い、本事業も遅延している。
								1,650			1,650				
					配水管布設工事の実施設計を完了させた。	—	—	100.0%	0.0%	—	5.9%				
								○	○						
12	①	水道施設更新事業（配水池・加圧所）	○		老朽水道施設（配水池・加圧所）更新計画の策定					22,000	22,000	—	—	○	
											0				
					—	—	—	—	—	0.0%	0.0%				
									○	○					

第2次総合計画 前期基本計画 総括シート

13	①	広域連携事業	○	断水事故や水質事故等緊急時の対応のための応急給水連絡管布設工事(丹波篠山市と配水管が近接する平木地内)			5,307			5,307	○	A	—	
					5,307			5,307						
			—	—	100.0%	—	—	100.0%						
				応急給水連絡管布設工事を完了させた。			○							
14	②	水道ビジョン策定事業	○	水道ビジョンの策定	7,000					7,000	○	A	—	5年を目安に基本計画を見直す。
					6,925				6,925					
				運営審議会で協議を重ね、水道事業の基本計画となる「水道ビジョン」を策定した。	98.9%	—	—	—	98.9%					
				○										
15	②	上下水道会計等事務業務委託事業		賦課収納、開閉栓業務等の民間事業者への委託	45,101	51,703	51,626	51,626	51,626	251,682	○	A	○	
					45,101	48,363	46,932			140,396				
				水道会計等事務の業務委託により、円滑な業務を遂行した。	100.0%	93.5%	90.9%	0.0%	0.0%	55.8%				
				○	○	○	○	○						
16	②	料金適正化事業	○	2020(令和2)年度から2023(令和5)年度までの適正な水道料金体系の設定、2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの適正な水道料金体系の設定		8,960	111	111	184	9,366	○	A	○	
					5,170	104			5,274					
				水道事業の将来を見通した長期50年間の投資・財政計画を作成し、料金体系の検討を行った。	—	57.7%	93.7%	0.0%	0.0%	56.3%				
				○	○	○	○							
17	②	アセットマネジメント事業	○	中長期的に効率的かつ効果的に水道施設を管理運営するための計画策定			9,350	25,080	47,500	81,930	○	A	○	
							8,500			8,500				
				計画策定に向けて、現存施設と固定資産台帳データとの突合を行い、水道台帳情報を整理及び作成した。	—	—	90.9%	0.0%	0.0%	10.4%				
				○	○	○								
予算(計画) 事業費 合計					676,024	797,326	730,914	1,979,663	1,635,692	5,819,619	【進捗】○:計画どおり ×:遅延 —:未実施			
決算 事業費 合計					628,127	616,987	683,612	0	0	1,928,726	【評価】A:十分に効果があつた B:概ね効果があつた			
執行率					92.9%	77.4%	93.5%	0.0%	0.0%	33.1%	C:効果はなかった —:評価対象外			
											【方向性】◎:拡充 ○:継続 △:変更して実施(縮小・統合・見直し) ×:廃止・休止 —:完了・完了予定			

第2次総合計画 前期基本計画 総括シート

部	上下水道部	課	管理課 工務課
---	-------	---	------------

将来あるべき姿

総合評価						
一次 (内部)	B	H30	R1	二次 (外部)	A	[A]十分に達成できた
		B	B			[B]概ね達成できた
						[C]達成できなかった

取組評価	成果	方向性	後期基本計画（課題、廃止・統合等）
 H30 R1 	下水道施設の長寿命化工事を計画的に実施することで、快適な生活環境が維持できた。また、老朽化が進む施設の統廃合も計画通りに整備できた。	⇒	 今後も、老朽化が進む施設の統廃合を計画的に進めるとともに、快適な生活環境を維持する取り組みを推進する。
 H30 R1 	下水道ビジョンに基づき処理場の統廃合を行い、更新費用の平準化と経費縮減ができるよう経営の健全化に努めた。経営指標は、令和2年度の経常収支比率が減少に転じたが、企業債残高は減少し、自己資本構成比率は向上した。		 引き続き、処理場の統廃合を推進し、経営の健全化を図る。財源を確保する取組として、下水道使用料は、スマートフォン等端末を利用したアプリケーションソフトウェアによる決済サービスを導入し、納付機会を拡充するとともに、使用料体系を定期的に検討する。
 H30 R1 	河高地区の安取雨水ポンプ場、上中地区雨水管渠整備を完了させ、施設の定期的な点検により、有事に備えた。	⇒	 既存水路を有効に活用した雨水整備を推進するとともに、有事の際に、最大限に能力を発揮できるよう定期的な施設点検を実施する。
H30 R1			
H30 R1		⇒	

【取組評価】●:十分に達成できた ▲:概ね達成できた ×:達成できなかった 【方向性】◎:さらに取組を充実させる ○:引き続き取り組む △:縮小して取り組む ×:取組不要

行財政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)
4	下水処理場統合整備事業	○	計画予定分の公共下水道への接続が完了した。	

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業(新規・廃止等事業を含む。)

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行革	実施 年限	上段:事務事業内容[2018(H30)～2022(R4)] 下段:2018(H30)～2020(R2)年度の取組内容・成果・課題	上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無						進捗	評価	方向性	備 考
						2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計				
1	①	不明水対策事業			汚水処理の安定化を図るための汚水管渠への雨水混入の調査及び修繕	22,320	17,962	22,950	16,500	19,800	99,532	○	A	○	
						21,708	13,140	21,969			56,817				
					雨水混入の不明水調査を行い、対策が必要な箇所を修繕した。	97.3%	73.2%	95.7%	0.0%	0.0%	57.1%				
						○	○	○	○	○					
2	①	マンホールポンプ場保守点検管理事業			安定した汚水流下能力確保のための汚水マンホールポンプ場(207か所)保守点検業務の委託	11,885	12,018	12,132	12,264	12,264	60,563	○	A	○	
						11,885	12,018	12,132			36,035				
					保守点検業務を委約することで、安定した汚水の流下能力を確保できた。	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	59.5%				
						○	○	○	○	○					
3	①	下水処理施設維持管理事業			公共用水域の水質保全のための下水処理場運転管理業務の委託	22,559	25,675	28,333	26,851	26,851	130,269	○	A	○	
						22,307	25,675	27,891			75,873				
					運転管理業務を委託することで、公共用水域の水質保全に努めた。	98.9%	100.0%	98.4%	0.0%	0.0%	58.2%				
						○	○	○	○	○					
4	①	下水処理場統合整備事業	○		下水道事業効率化のためのコミブラ等(市内11か所)を公共下水道への接続	35,100	46,680	374,350	423,400	164,112	1,043,642	○	A	○	
						33,559	34,334	368,580			436,473				
					効率的汚水処理整備計画通りに進捗を図った。	95.6%	73.6%	98.5%	0.0%	0.0%	41.8%				
						○	○	◎	◎	○					
5	①	道路整備関連汚水管整備事業			(仮称)杜西部線ほか2路線の道路改良工事に伴う関連汚水管の布設工事	5,260	32,100				37,360	○	A	—	
						4,911	26,962				31,873				
					各道路管理者と協議し、工事を完成させた。	93.4%	84.0%	—	—	—	85.3%				
						○	○								
6	①	工事監理員派遣委託事業			専門的知識を有する人材による円滑な現場対応を行うための工事監理員の派遣委託	12,000	14,534	14,467	16,107	16,107	73,215	○	A	○	
						11,989	14,059	14,034			40,082				
					工事監理員の派遣を受け、円滑な現場対応を行った。	99.9%	96.7%	97.0%	0.0%	0.0%	54.7%				
						○	○	○	○	○					
7	① ②	下水道施設長寿命化事業			安定した汚水処理機能を持続させるためのせせらぎ東条と市内マンホールポンプ場の機器更新工事	76,704	118,810	6,473	20,351	20,900	243,238	○	A	○	
						73,613	113,392	5,440			192,445				
					せせらぎ東条とマンホールポンプ場の機器更新を完了させ、安定した汚水処理機能が確保できた。	96.0%	95.4%	84.0%	0.0%	0.0%	79.1%				
						○	○	○	○	○					
8	②	下水道ビジョン策定事業	○		下水道ビジョンの策定	5,000					5,000	○	A	—	5年を目安に基本計画を見直す。
						4,587					4,587				
					運営審議会で協議を重ね、下水道事業の基本計画となる「下水道ビジョン」を策定した。	91.7%	—	—	—	—	91.7%				
						○									
9	②	ストックマネジメント事業			中長期的に下水道施設全体における老朽化の進展状況を考慮し、施設全体を最適化するための計画策定				94,600	134,000	228,600	—	—	○	
											0				
					—	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%				
									◎	○					
10	②	公共下水道未普及解消事業			公共下水道区域における未普及地域の解消(北播衛生事務組合南部衛生公園、上中地区)	94,230	134,500	13,236			241,966	○	A	—	
						81,034	88,537	9,657			179,228				
					計画していた汚水管布設工事を完了させた。	86.0%	65.8%	73.0%	—	—	74.1%				
						○	○	○							
11	②	使用料適正化事業	○		2020(平成32)年度から2023(平成35)年度までの適正な下水道使用料体系の設定、2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの適正な下水道使用料体系の設定		11,160	111	111	184	11,566	○	A	○	
							4,310	96			4,406				
					下水道事業の将来を見通した長期50年間の投資・財政計画を作成し、使用料体系の検討を行った。	—	38.6%	86.5%	0.0%	0.0%	38.1%				
							○	○	○	○					

第2次総合計画 前期基本計画 総括シート

12	③	上中雨水幹線整備事業		上中・北野・新町地区の浸水被害対策のための上中幹線から千鳥川へ放流する雨水管渠の整備	4,820	48,320				53,140	○	A	—	
					4,465	36,994				41,459				
					92.6%	76.6%	—	—	—	78.0%				
				計画していた雨水管渠の整備を完了させた。	○	◎								
13	③	浸水被害対策事業	○	河高地区の浸水被害対策のための安取雨水ポンプ場の整備工事	282,900					282,900	○	A	—	
					260,832					260,832				
					92.2%	—	—	—	—	92.2%				
			安取雨水ポンプ場の整備工事を完了させた。	○										
14	③	雨水管渠整備事業	○	山國地区における浸水被害解消				7,700	61,000	68,700	—	—	○	
									0					
				—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					
						◎	○							
予算(計画) 事業費 合計					572,778	461,759	472,052	617,884	455,218	2,579,691	【進捗】○:計画どおり ×:遅延 —:未実施 【評価】A:十分に効果があった B:概ね効果があった C:効果はなかった —:評価対象外 【方向性】◎:拡充 ○:継続 △:変更して実施(縮小・統合・見直し) ×:廃止・休止 —:完了・完了予定			
決算 事業費 合計					530,890	369,421	459,799	0	0	1,360,110				
執行率					92.7%	80.0%	97.4%	0.0%	0.0%	52.7%				